

The World Citizen

平成30年度 第2回学校評価保護者アンケートの結果と改善策について

今回のアンケートは回答方法をWebに変更し、全校で693人の保護者の方にご回答をいただきました。マークカードの時よりも回答数が増加し、保護者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。アンケートの集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。お寄せいただいた貴重なご意見をもとに、日々の教育活動の工夫・改善に努めていきたいと考えております。

* 集計結果は、生徒・保護者の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計割合(%)です。

評価項目	第2回集計結果		今後に向けての改善策
	前期	後期	
1 子どもは家庭や地域でも自分から進んであいさつをする。	89	91	「全ての基本は挨拶から」「心を開いて相手にせまる」という挨拶の持つ力や意味を理解し、より多くの教師が生徒に声かけできるように、あらゆる場面で行う。
2 子どもは家庭や地域でも意欲的に清掃活動に取り組む。	68	66	保護者評価が低く、家庭での環境整備が不十分と思われる。PTA運営委員会で取り上げてもらい、学校内外での環境美化意識・行動の向上につなげたい。
3 子どもは学校が好きである。	93	87	生徒が自身の可能性を広げることできる生活(学習)環境を整備し、成功体験を通して自己肯定感を高め、学校への誇りを持てるようにしていく。
4 子どもは英語や外国文化に興味がある。	90	85	現在の取組を継続しつつ、4技能に加えて5領域目(発表力・伝える力)を意識した授業を行い、生徒の知的興味関心を引きつける取組を実践していく。
5 イングリッシュキャンプやスピーチコンテスト、海外修学旅行などにより、子どもの国際コミュニケーション能力は高まっている。	90	84	より実践的で効果的な行事内容となるように、教科内・学年内で検討、努力していく。
6 学校は、授業や学校行事を通じて我が国の文化・伝統に触れる機会を設けている。	93	87	各科目、各教科ごとに日本及び世界の文化・伝統に関連した授業内容を工夫、充実させ、現在の評価を維持できるように努める。
7 子どもたちには、確かな学力身につけている。	85	87	定期考査問題、課題内容等を検討する機会を設け、授業アンケートの結果も踏まえ、生徒の理解の度合いを更に細かく把握し、個々の指導にフィードバックする。
8 英語や数学の少人数学級は生徒の学力向上に効果がある。	94	93	現在の取組を常にチェックする目を持ち、少人数指導の理想の形を追求していく。
9 子どもは、自分なりの目標をもって学習に取り組んでいる。	85	90	5年間にわたるSGH諸活動の成果をふまえ、全ての教科の中でSGHの目標を達成する学びを展開する「教科のSGH化」にむけた授業改善を進める。
10 子どもは、毎日家庭学習に取り組む習慣が身につけている。	76	82	生徒が関心をもち、主体的に取り組む課題の課し方について、授業改善と関連させて全教科・学年で検討する。
11 子どもの様子から、子どもは先生との信頼関係が築けている。	85	85	現在の取組を継続しつつ、生徒の言動を注視し、全職員で情報を共有していく。「すべては生徒の成長のために」迅速かつ適切なタイミングで叱咤激励を行なう。
12 学校生活を通して、子どもはクラスの友人とよりよい人間関係を築いている。	92	91	現在の取組を継続しつつ、互いの価値観を共有し、違いを認め合い、高め合える集団を目指していく。
13 子どもは自分の健康に留意して生活している。	83	83	学校医や養護教諭からの指導助言や生徒保健委員からの健康関連情報を、保健便り等によって、頻度をより高めて全校生徒に提供する。
14 子どもは、部活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる。	92	75	4年次以降の部活動加入率を低下させないための現在の取組を維持するとともに、委員会活動の活性化に向けた新たな取組を考える。
15 学校はいじめ防止に努め、いじめが発生した場合にも解消してくれた。	85	82	現在の取組を継続しつつ、いじめの定義やいじめ防止対策推進法等を周知徹底し、いじめの認知を積極的に行なっていく。その上で、「いじめは何があっても許さない」という姿勢を貫き、よりきめ細かい対応として生徒への面談等を実施し、関係を密にしていく。
16 子どもは、自己を理解したうえで将来の職業を選択しようと考えている。	81	91	<基礎期>生徒一人ひとりが興味・関心を抱くテーマを自己認識し、自らの学習意欲を向上させる支援を行う。 <充実期>生徒一人ひとりが自己の適性を認識し、将来の目標となりうる職業を意識する支援を行う。
17 子どもは、自分自身の進路に関する意識を有している。(後期課程のみ)		94	<発展期>文理分けや科目選択をふまえ、生徒一人ひとりが自己の学習計画を充実させる支援を行う。
18 子どもは進路希望を理解している。	81	92	年間計画に従い、2月に1.2年生生徒・保護者対象の進路講演会を実施する。
19 学校から、生徒・保護者に必要な進路情報の提供を受けている。	74	89	各学年通信に学力推移調査等の結果を掲載し、各家庭で保護者と生徒が話し合うテーマを提供する。
20 進路講演会や進路関連行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	87	87	年間計画に従って3月に実施される全校の保護者を対象とするPTA進路学習会において、進路情報を提供する。

21	学校のwebページには、新しい情報が定期的に載っている。	83	77	Webページの更新回数を増やし、画像等を活用し、学校の行事や授業の様子等をより積極的に情報発信し、Webページから情報を得ようとする側のニーズに対応できるよう努める。
22	保護者向け学校行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	94	92	様々な機会を捉えてながら保護者のニーズに応えられる行事が企画出来るように努力する。
23	学校は、適切に文書やメール等で連絡してくれる。	86	88	一斉メールのあり方を常に振り返りながら、必要な情報が過不足なく伝達出来るように引き続き努力する。
24	学校はPTA(保護者)と連携し、奉仕活動などの地域活動を行っている。	84	70	これまでの取組を効果的に継続し、引き続き活動の実態を周知するように努力する。
25	交通安全教室や防災避難訓練は子どもの安全意識向上に役立っている。	93	89	現在の取組を継続しつつ、「交通事故は命に関わることを念頭に、より生徒が実感できる交通指導として本校のみならず県内の事故事例報告や傾向と対策を周知していく。
26	学校の施設・設備は整備され、安全である。	89	87	照明設備等、安全点検や学校評価で指摘された課題を解決したい。しかし、多くは予算が確保できるかどうかにかかっている。

○第2回学校評価保護者アンケート自由記述欄より

多くの貴重なご意見やご提案をいただいております。ご協力いただき、ありがとうございました。その中で、主だった意見とその対応について報告いたします。その他の意見や提案もありがたく頂戴いたしました。中には予算等の面で実施が難しいものもありますが、一つ一つ解決に向けて検討し、より良い学校運営に生かしてまいります。

○部活動(特に前期課程を中心に)

本年度は、社会的に部活動に対する話題が取り上げられた年であったと感じています。それに伴って、本校でも「部活動方針」を策定しその方針に基づいて活動を行っています。近隣の市町村の状況を見ますと、部活動を週2回休み(後期課程は週1回休み)にしている市町村もあれば、この4月から本格実施する市町村もあるように聴いています。今後も、好ましい人間関係作りと心身の成長を目的に部活動を充実させていきたいと考えております。ご協力をお願いします。

○宿題・課題について

中等は卒業後大学進学等、次のステージを見据えた学習をしていますから、各段階で身につけさせたい力を各教科の先生が把握しています。そのため高度な課題や量の多い宿題が出る場合があります。教育の機会均等を考えますと、A君にはこの宿題、Bさんにはあの宿題と区別することには困難さが伴います。そこで重要になってくるのが一人一人の生徒の能力や実態に応じた指導です。私たち教員は、このことも踏まえて宿題を出しているつもりでおります。しかし、中には、過度の量の宿題になってしまう生徒がいることも事実だと思います。そのような状況にご自身のお子様になっているようでしたら、担任や学年主任等にご相談ください。そうなれば、より明確に個別に対応することが可能になると考えています。課題の調整も今後していきます。これに加えて、担任の先生もフォローに入れるように学級担任が宿題・課題の量の把握に努めていきたいと思っております。

○冬の防寒着について

女子の黒タイツは、過去6年間の中で2回に渡り生徒会の評議会で審議され、生徒の方で、登校時にウインドブレーカーのようなズボンをはけるので必要なしと決定されています。学校の中に入ると比較的暖かく、逆に黒タイツでは暑くなりすぎてしまうと生徒たちは感じているようでした。生徒手帳P32を参照しながら防寒対策を工夫して頂けると有り難いです。

○ロッカーの狭さについて

1年生を中心に「ロッカーを広くして欲しい」という要望がありました。残念ながら施設の改修は困難のためロッカーを広くすることはできないのです。普通の中学校であれば、このようなロッカーのある学校は少ないと思います。ロッカーの利便さ有効性に目を向けて、工夫した中等生活を送って欲しいと願っています。

○就業体験について

本年度より、3年生が夏休みに職場体験学習を始めました。現在3年生は、企業訪問を計画中です。また、6年生が早めに進路先が決まると「ようこそ先輩」という群馬県教育委員会が実施しているプロジェクトで、出身小学校でボランティア活動をすることができます。そして、キャリア教育という視点で見ると、本校はSGHの活動や明石プロジェクトなどを通してハワイ研修(次年度ジュネーブ研修)や地球市民語学研修など体験活動を取り入れた様々な活動を行っています。

ご協力ありがとうございました。